

**製品名: PTCH1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00420**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 161 kDa; Observed MW: 161 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PTCH1
別名	PTCH1; PTCH; Protein patched homolog 1; PTC; PTC1
遺伝子 ID	5727
SwissProt ID	Q13635
免疫原	抗血清はヒトパッチド由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

**背景**

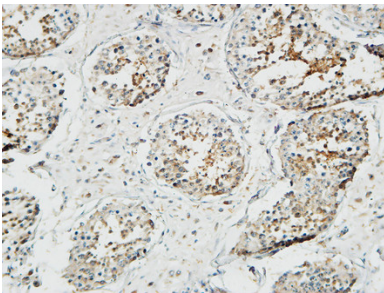
この遺伝子は、パッチド遺伝子ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、胚構造の形成と腫瘍形成に關与する分泌分子であるソニックヘッジホッグ、ならびにデザートヘッジホッグタンパク質とインディアンヘッジホッグタンパ

ク質の受容体です。この遺伝子は腫瘍抑制因子として機能します。この遺伝子の変異は、基底細胞母斑症候群、食道扁平上皮癌、毛包上皮腫、膀胱移行上皮癌、および全前脳胞症と関連付けられています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。追加のスプライスバリエーションが報告されていますが、それらの完全長配列と生物学的妥当性は現時点では決定されていません。

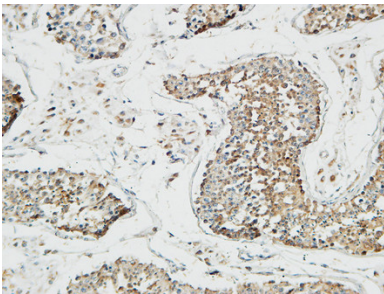
## 研究分野

細胞生物学

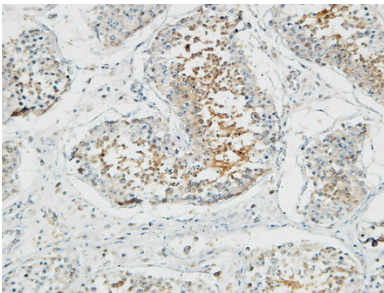
## 画像データ



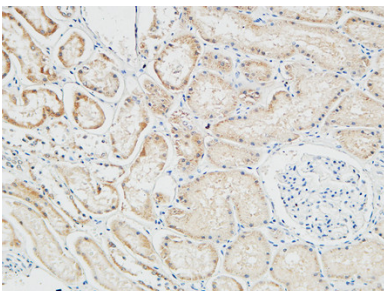
PTCH1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用しました。



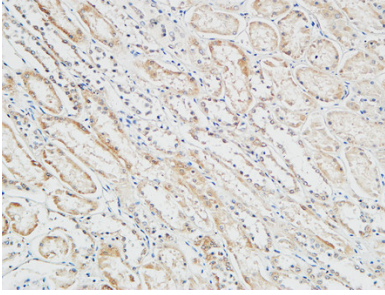
PTCH1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用しました。



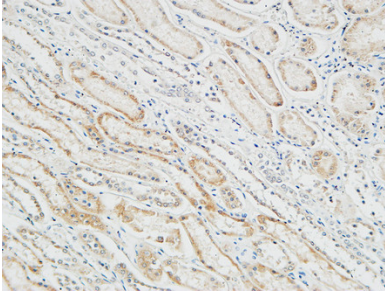
PTCH1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用した。



PTCH1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト右腎臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用しました。



PTCH1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト右腎臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用しました。



PTCH1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト右腎の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用した。